

平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月11日

上場取引所 大

上場会社名 サンコーテクノ株式会社
 コード番号 3435 URL <http://www.sanko-techno.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 洞下 英人
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 (氏名) 佐藤 静男

TEL 04-7178-5530

四半期報告書提出予定日 平成23年8月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	2,811	8.0	△28	—	△40	—	△36	—
23年3月期第1四半期	2,604	4.2	△42	—	△38	—	△20	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 △17百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 17百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	△17.94	—
23年3月期第1四半期	△10.15	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	13,483	6,590	47.8
23年3月期	13,743	6,669	47.5

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 6,448百万円 23年3月期 6,532百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	0.00	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,751	5.0	124	△26.9	116	△29.0	55	△42.4	27.03
通期	14,500	6.4	480	△7.5	460	△6.0	245	△6.1	120.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 有

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期1Q	2,186,352 株	23年3月期	2,186,352 株
24年3月期1Q	151,593 株	23年3月期	151,593 株
24年3月期1Q	2,034,759 株	23年3月期1Q	2,034,886 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、【添付書類】P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、3月に発生した東日本大震災により経済全体が大きな打撃を受けました。その後徐々に回復の兆しが見られたものの、電力供給不安や円高傾向等により先行き不透明な状況が続きました。

当社グループが関連する建設市場におきましても、震災後の本格的な復旧・復興計画に遅れが出ているほか、民間設備投資の抑制などが見受けられました。

このような事業環境の中、当社グループにおきましては引き続き、「安全・安心・環境」のキーワードのもと、各事業部において新製品の開発に注力しております。リニューアル事業では、ゼネコンとの共同開発で耐震補強工法用アンカーを発表したほか、センサー事業では、モバイルタイプのアルコール測定器を発売しました。なお、前期より業務効率の向上に向けたIT投資(システムのERP化)を進め、これに伴う費用が一時的に増えました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,811百万円(前年同四半期比8.0%増)、営業損失28百万円(前年同期は営業損失42百万円)、経常損失40百万円(前年同期は経常損失38百万円)となりました。四半期純損失は、36百万円(前年同期は四半期純損失20百万円)となりました。

各セグメントの業績は以下のとおりであります。

①ファスニング事業

東日本地域では震災後の復旧・復興に向けた小規模な修復工事が数多く発生し、金属拡張アンカーや接着系アンカーが好調に推移しました。しかしながら、被災地以外では材料不足により工事着工予定物件の遅れが相次いでおります。

この結果、当セグメントの売上高は2,270百万円(前年同四半期比8.3%増)、セグメント利益は26百万円(同134.2%増)となりました。

②リニューアル事業

太陽光発電関連製品や高架橋補強工事等の土木工事が好調に推移しました。しかし、東日本大震災による資材の供給不足で建築工事関連や外壁補修関連では工事が先送りになるなどの影響がありました。

この結果、当セグメントの売上高は391百万円(同1.9%減)、セグメント損失は56百万円(前年同期はセグメント損失53百万円)となりました。

③センサー事業

電子基板関連では車両向けの製品受注が好調であったほか、「旅客自動車運送事業運輸規則」及び「貨物自動車運送事業輸送安全規則」の一部改正に伴う特需や新製品発売に伴う他社製品からの切替えによりアルコール測定器の売上が大きく寄与しました。

この結果、当セグメントの売上高は168百万円(同28.1%増)、セグメント損失は8百万円(前年同期はセグメント損失2百万円)となりました。

なお、数値にはセグメント間取引を含んでおります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末より260百万円減少して13,483百万円となりました。これは主として現金及び預金、受取手形及び売掛金が減少した一方、たな卸資産が増加したことによるものであります。

負債の合計は前連結会計年度末より181百万円減少して6,892百万円となりました。これは主として短期借入金、未払法人税等が減少した一方、支払手形及び買掛金、賞与引当金が増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末より78百万円減少して6,590百万円となりました。これは主として利益剰余金が減少した一方、為替換算調整勘定が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の見通しにつきましては、日本経済の先行きに不透明感が漂っており、建設業界におきましても、震災の復旧・復興に向けた取組みが見込まれるものの、鋼材価格の上昇傾向や設備投資の減少が予想されます。しかしながら、耐震補強工事の需要増、電力供給不安による再生可能エネルギーへの関心の高まりを受け、太陽光発電架台取付け用アンカー「あと基礎アンカー」などの販売が好調に推移することが予想されます。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、平成23年5月13日に公表いたしました連結業績予想から変更はございません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益（損失）に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（たな卸資産の評価方法の変更）

当第1四半期連結会計期間より当社における原材料の評価方法は、先入先出法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）から総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）に変更いたしました。

また、当第1四半期連結会計期間より当社における貯蔵品の評価方法は、最終仕入原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）から総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）に変更いたしました。

これらの変更は、基幹システムの変更を契機としたものであり、在庫金額の確定の迅速化並びに原価計算の効率化を図るために行ったものであります。

なお、この変更による影響額は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,390,890	1,294,053
受取手形及び売掛金	3,032,585	2,485,718
たな卸資産	2,201,722	2,622,304
その他	844,959	842,495
貸倒引当金	△70,063	△67,833
流動資産合計	7,400,094	7,176,738
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,345,896	1,365,117
土地	3,067,211	3,067,931
その他(純額)	449,792	386,220
有形固定資産合計	4,862,899	4,819,268
無形固定資産	121,691	126,726
投資その他の資産	1,358,826	1,360,446
固定資産合計	6,343,417	6,306,441
資産合計	13,743,512	13,483,180
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	939,909	1,119,823
短期借入金	4,228,311	3,929,843
未払法人税等	95,620	43,351
賞与引当金	127,547	193,224
災害損失引当金	2,195	2,195
その他	325,138	282,388
流動負債合計	5,718,723	5,570,826
固定負債		
長期借入金	52,728	43,896
退職給付引当金	974,914	949,544
役員退職慰労引当金	218,375	218,706
その他	109,313	109,611
固定負債合計	1,355,330	1,321,758
負債合計	7,074,053	6,892,584

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	768,590	768,590
資本剰余金	581,191	581,191
利益剰余金	5,509,473	5,411,929
自己株式	△244,111	△244,111
株主資本合計	6,615,144	6,517,600
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△20,618	△18,898
繰延ヘッジ損益	597	378
為替換算調整勘定	△62,701	△50,208
その他の包括利益累計額合計	△82,722	△68,729
少数株主持分	137,037	141,724
純資産合計	6,669,459	6,590,596
負債純資産合計	13,743,512	13,483,180

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
売上高	2,604,668	2,811,809
売上原価	1,801,195	1,941,374
売上総利益	803,472	870,435
販売費及び一般管理費	846,390	898,860
営業損失(△)	△42,918	△28,425
営業外収益		
受取利息	905	2,247
受取配当金	1,156	1,125
仕入割引	13,420	9,975
投資不動産賃貸料	5,173	7,560
持分法による投資利益	964	1,008
その他	16,749	5,873
営業外収益合計	38,370	27,792
営業外費用		
支払利息	7,451	6,182
売上割引	19,606	21,629
その他	7,245	12,302
営業外費用合計	34,304	40,114
経常損失(△)	△38,852	△40,748
特別利益		
固定資産売却益	2	1,428
貸倒引当金戻入額	22	—
特別利益合計	25	1,428
特別損失		
固定資産除却損	1,363	1,577
災害による損失	—	2,531
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	920	—
特別損失合計	2,283	4,109
税金等調整前四半期純損失(△)	△41,109	△43,428
法人税等	△23,519	△9,578
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△17,589	△33,849
少数株主利益	3,071	2,651
四半期純損失(△)	△20,661	△36,501

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△17,589	△33,849
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,781	1,721
繰延ヘッジ損益	—	△219
為替換算調整勘定	40,457	14,556
その他の包括利益合計	34,676	16,058
四半期包括利益	17,086	△17,790
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,061	△22,507
少数株主に係る四半期包括利益	9,024	4,717

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等
(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注1)	四半期連結損 益計算書計上 額(注2)
	ファスニング 事業	リニューア ル事業	センサー事業			
売上高						
外部顧客への売上高	2,095,747	394,344	114,575	2,604,668	—	2,604,668
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	4,553	16,787	21,340	△21,340	—
計	2,095,747	398,897	131,363	2,626,009	△21,340	2,604,668
セグメント利益又はセ グメント損失(△)	11,492	△53,314	△2,448	△44,270	1,352	△42,918

(注) 1. 調整額はセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注1)	四半期連結損 益計算書計上 額(注2)
	ファスニング 事業	リニューア ル事業	センサー事業			
売上高						
外部顧客への売上高	2,270,175	385,440	156,194	2,811,809	—	2,811,809
セグメント間の内部 売上高又は振替高	510	5,909	12,027	18,447	△18,447	—
計	2,270,685	391,349	168,221	2,830,256	△18,447	2,811,809
セグメント利益又はセ グメント損失(△)	26,915	△56,951	△8,478	△38,514	10,089	△28,425

(注) 1. 調整額はセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

3. 会計方針の変更

(たな卸資産の評価方法の変更)

「2. サマリー情報(その他)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」に記載のとおり、当社でたな卸資産の評価方法を変更しております。

なお、この変更によるセグメント利益又はセグメント損失(△)への影響額は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

- (6) 重要な後発事象
該当事項はありません。